

春 告 草

第 29 号 平成 28 年 4 月 20 日 進路指導部発行

大学入試 英検など民間英語試験の利用が拡大

GTEC、実用英語検定（英検）や TOEFL など、英語の 4 技能（「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」）を測る民間の英語試験を入試で利用する大学が増えています。利用校には「優秀な学生が確保できた」との声がある一方、周知不足や求める成績をどのように設定するかなどの課題が浮かんでいます。

文部科学省が 3 月末に公表した大学への調査では、今年度入試において国公立大の 43%にあたる 299 の大学が民間英語試験を利用した。入試形態別では推薦入試 203 校、AO（アドミッション・オフィス）入試 168 校となっており、一般入試でも 44 校が利用した。

利用理由は、「優秀な学生の確保」（64%）、「4 技能が測定できる」（48%）などが多く、大学側が受験生に求める成績レベルは、英検換算で準 2 級～2 級相当（高卒程度）が 80%で、大学生レベルの準 1 級相当以上を求めた入試も 13%あった。

同時に実施された大学生約 13,500 人への調査では、高校生の時に民間英語試験を受け、成績も答えた約 2,400 人中、準 1 級相当以上の実力だったのは 4%で、大学側が求める成績の方が高い傾向がある。

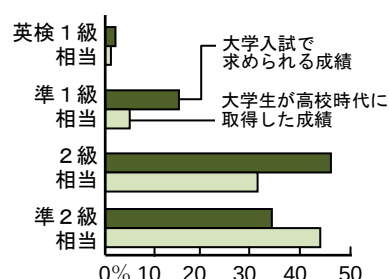
上智大では、昨年度より「TEAP 利用型入試」を導入している。これは上智大が日本英語検定協会と共同開発した英語試験「TEAP」の成績が出願資格に定められている選抜方法で、成績が各学科の設定した基準点を超えれば英語試験を免除するというもの。昨年度は募集定員 384 人に 9,106 人が応募し高倍率だったが、今年度は大半の学科で基準点を上げるなどした結果、志願者は 4,634 人となった。レベルの高い上智の英語試験が免除されるのでハードルは高いが、チャンスが増えるという意味では、注目すべき試験制度である。

また、入試への利用ではないが、東京海洋大学では今年度より下に示した通り、入試への出願要件に英語資格を規定した。経過措置があり、平成 29 年度入試（現 6 年生受験）まではセンター試験の英語得点が 175 点以上（筆記 200 点＋リスニング 50 点の 250 点満点）であれば、出願可としているが、平成 30 年度以降（現 5 年生以下が受験）の入試では出願要件は統一される。

英検などの資格取得が入試出願要件に含まれる今後の動きについて、現時点で予測はできないが、入試に利用する傾向は間違いなく拡大していくだろう。

首都圏難関大入試において今年度は、上智、理科大、ICU、青学、法政、立教などの各大学で利用していたが、来年度入試では早稲田・文・文化構想、明治・経営、青学・国際政経などの各大学が新規導入することを発表されている。

民間英語試験の成績



東京海洋大学の入試出願要件

次に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者

- ① TOEIC 400 点以上
- ② TOEIC (iBT) 40 点以上、または TOEFL (PBT) 435 点以上
- ③ IELTS バンド 3.5 以上
- ④ GTEC for STUDENTS 500 点以上 (Basic、Advanced どちらも可)、または GTEC CBT 720 点以上
- ⑤ 英検準 2 級以上

この模試で『受験生』になるのだ！

スタート時での入試対応力を確認し、課題を自覚する

6年生へ

6年生1回目の記述模試が行なわれます。今年度校内で実施する模試日程は下に示したとおりですが、今回の模試は主に、4年、5年生の学習範囲の総まとめにあたる内容で、受験勉強の土台となる基礎学力の力を確認する為のものです。しっかりと準備し、受験して、「自分の弱点がどこにあるか」を探り、今後の受験勉強計画に役立てることが大切です。

またこれからは、1回1回の模試が入試の予行演習にもなります。その都度、具体的に目標を設定し、その達成に向けて取り組みましょう。志望校の入試情報を調べ、対策を立て、その計画を実行して模試に臨むようにすれば、学習効果、模試効果も大きいと思います。わずかな点差が合否を分ける入試ですから、本番を想定して1点も無駄にしないことを意識して模試を受験してください。

志望校判定は8校

志望校判定はこれまで4校まででしたが、今回からは8校まで記入できるようになりました。さらに、国公立大前期日程、後期日程などの日程や、個別入試、全学部入試、センター利用入試などの方式までを含めた「募集単位」で記入することになります。同じ学部・学科でも、日程・入試方式によって科目・配点が変わる（※）こともあるので注意しましょう。

（※この為、同じ科目でも判定が異なるケースもあります。）

空き時間は自習室などで勉強！

模試受験であっても、平常通りの登校です。試験時程は下の通りですので、間違いのないように受験してください。空いた時間は、空き教室や自習室、第3講義室、図書室などでいつも通りの勉強をしましょう。生活のリズムを崩さないことも大切な「受験力」です。

模試時程

4月20日（水）	4月22日（金）
数学Ⅹ（文系） 10:40 ～ 12:20	理科① 8:30 ～ 9:30
数学Ⅹ（理系） 10:40 ～ 12:40	理科② 9:45 ～ 10:45
地歴・公民① 13:20 ～ 14:20	英語 11:00 ～ 12:30
カード記入 14:20 ～ 14:40	国語 13:20 ～ 14:50
地歴・公民② 14:50 ～ 15:50	

受験生になる君に贈る言葉

When it is dark enough, you can see the stars.

どんなに暗くても、星は輝いている。

Ralph Waldo Emerson（米国の思想家、哲学者、作家、詩人 / 1803～1882）

入試本番を想定して受験しよう！

- ☐ 試験開始直後、問題に一通り目を通し、時間配分を考えているか？
- ☐ 時間配分は、見直しの時間を含めて設定しているか？
- ☐ 「確実に解ける問題」「配点が高い問題」など、優先的に解くべき問題を意識して解いているか？

明治大学文学部英米文学科、農学部農芸化学科の例

文学／英米文学		3318-01-1001
◇文学／英米文学 ー全学部		3318-01-1002
△文学／英米文学 ー前期3	セ	3318-01-1071
△文学／英米文学 ー前期5	セ	3318-01-1072
農芸化		3318-72-0301
◇農芸化 ー全学部		3318-72-0302
△農芸化 ー前期	セ	3318-72-0332

英米文学科では4つの入試方式（個別入試、全学部入試、センター利用試験3教科型、センター利用試験5教科型）、

農芸化学科では3つの入試方式（個別入試、全学部入試、センター利用入試）がある。最初の4桁が大学コード、次の2桁が学部コード、次の2桁が学科コードで最後の2桁が日程・方式を表している。

今年度の模試実施予定 （校内実施分）

4/12

受験学力測定テスト（河合塾）

4/20,22

総合学力記述模試（進研模試）

6/1,2

総合学力マーク模試（進研模試）

7/7,8

総合学力記述模試（進研模試）

9/12,13

ベネッセ・駿台マーク模試

10/19,20

ベネッセ・駿台記述模試

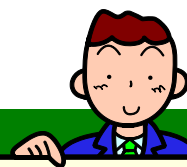
11/2,4

ベネッセ・駿台マーク模試

12/7,8

センター試験プレテスト（河合塾）

大学入試の基礎知識



今年度入試では、東京大学で推薦入試が始まり、本校からも合格者が出た。今回は推薦入試も含め入学選抜方法を研究しよう

大学へ入学する方法を調べよう

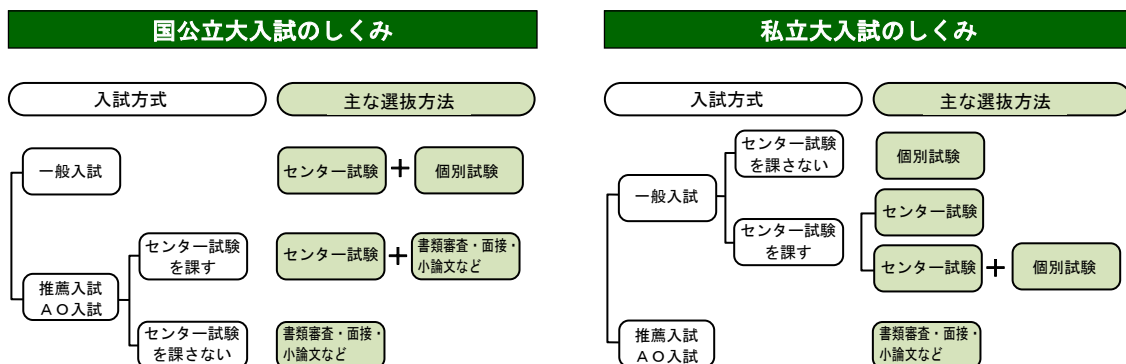
国公立大学へ入学する為には一般入試の「センター試験受験＋個別試験受験」が主流であるが、推薦入試、ＡＯ入試という別ルートもある。

今年度は東京大学の推薦入試が新たに始まった。合格者 77 名の中には本校卒業生も 1 名含まれている。京都大学では特色入試が始まり、他の国公立大学でも同様の入試が以前より行われている。「狭き門」であることは間違いないが、大学へ入学する方法を調べておくことは無意味なことではないだろう。今回は、私大も含めて大学入学の方法（ルート）を学習しよう。

大学入試の基本的な仕組みは？

大学の入学試験は、基本的には各大学・学部が個別に実施し、選抜方法もそれぞれ独自のやり方で行っている。学科試験による「一般入試」、面接や小論文などで選考する「推薦入試」、「ＡＯ入試」の３つが主な選抜方法だが、メインは一般入試であり、募集人数も多く、学力勝負の選抜が行われている。

国公立大および私立大の入試方法・主な入試方法・基本イメージ



一般入試について

国公立大の「一般入試」は、センター試験が必須で、センター試験の得点と個別試験の得点を合わせて選抜される。一方、私立大については、センター試験は必須ではないが、センター試験の成績だけで合否が決まるセンター利用方式やセンター試験の成績と個別試験の成績で合否を決定する併用方式も行われている。このため、本校生徒の殆どの生徒はセンター試験を受験している。詳細は、進路指針を参照してください。（今年度版は 5 月下旬に発行予定）

推薦入試・ＡＯ入試について

ア 公募制推薦入試

大学が特に高校を指定する入試（指定校推薦）とは異なり、広く推薦を受け付ける入試。学部・学科・評定平均値など大学が指定した基準を満たし、校長の推薦があれば誰でも出願できる。選抜方法は、国公立大学ではセンター試験を課すものと課さないものがある。私立大学では「書類審査・面接・小論文」で選抜することが多い。浪人生の出願や他大学との併願が可能な大学もある。重要なのは調査書の評定平均値で、国公立大学

では4.0以上、私立大学では3.5以上がおおよその目安となる。

公募制では、個性的な学生を獲得するために、ユニーク推薦を行う大学がある。一芸一能入試・自己推薦・有資格者推薦・スポーツ推薦などがその代表的なものである。

※東京都内で推薦入試を実施している国公立大学

お茶の水女子大、電気通信大、東京医科歯科大、東京海洋大、東京外国語大、東京学芸大、東京工業大、東京大、東京農工大、一橋大、首都大学東京
(実施している学部・学科名は省略した。出願資格が制限されている大学もあるので、詳細は各自で調べること。)

イ AO入試

AOとは、アドミッション・オフィス（入学者選抜を含め入学業務全般を担当する部署）の略で、大学の掲げる“アドミッション・ポリシー（求める学生像）”と合致する学生を大学側が早めに確保するシステムとして私立大学を中心に、最近では国公立大学でも広がっている。提出書類や面接などを通じて、受験生の課外活動や人物、学ぶ意欲、適性などを多面的に評価して選抜する方法である。ただし、最近では学科試験を課す学校も出てきており、この傾向はさらに強まると思われる。時間をかけて選抜するため、出願は推薦入試より早く始まる場合が多く、また、一般入試の勉強との兼ね合いが難しいことも考えられる。

東京農工大学のAO入試

東京農工大では農学部環境資源学科でゼミナール入試、工学部の物理システム工学科と情報工学科でSAIL入試を行っている。

農学部ゼミナール入試では「大学教員による第1回ゼミナール参加→レポート提出→第2回ゼミナール参加・学力評価テスト受験・面接→センター試験受験→合格発表」という手続きで合格者が確定する。

講義や実験を見学してのレポート作成能力や、基礎学力評価や探究能力評価に加え、センター試験の得点（数学、理科、英語）で最終決定される。

工学部のSAIL入試は8月末に出願し、最終合格発表が10月上旬なので、センター試験受験は不要。志望学科に関係する特別活動レポートと調査書で第一次選考が行われ、一次選考合格者対象に特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーション、質疑応答を含む面接や口頭試問などが課され、最終合格者が決定する。

首都大学東京のAO入試

首都大でも農工大と同様のゼミナール入試を都市教養学部理工系生命科学コースと都市環境学部地理環境コースで実施している。

生命科学コースのゼミナール入試は、高校2、3年生（本校5、6年）を対象に行う「高校生ゼミナール」（夏休み期間に行われるサマーセッションも含み全9回）への出席が出願要件（出願できるのは高校3年生）となっている。

地理環境コースは高校3年生（本校6年生）対象だが、「土曜ゼミナール」（全6回）修了が出願要件となっている。

両コースとも出願期間は今月末（4月30日消印有効）となっているので、希望者は応募を急ごう。

首都大では上記のゼミナール入試の他「グローバル人材育成入試」「科学オリンピック入試」も実施している。

※東京都内でAO入試を実施している国公立大 お茶の水女子大、電気通信大、東京海洋大、東京学芸大、東京農工大、首都大学東京
(実施している学部、学科名は省略。詳細は各大学HPなどで確認すること)

国立大 多様な選抜へ

文部科学省が昨年10月に公表した国立大学86校の中期目標・計画案（2016～2021年度）に盛り込まれた大学入試改革案によれば、受験生の高校時代の学習成果や課外活動歴を多角的に評価する新しい選抜方法の導入を掲げる大学が多い。

千葉大では、大学教員が開催した高校生向け科学講座などの参加者から、優秀な生徒を選抜する特別入試を2020年度以降に実施することを検討する。

岩手大では地域貢献につながる人材育成を目的に、2017年度から地域産業の活性化や震災復興への意欲がある高校生を評価するAO入試を一部の学部で始める。

今年度は東京大が推薦入試、京都大がAO・推薦入試を導入したが、一橋大は2018年度より多様な評価基準を用いる推薦入試を全学部で実施する。東北大では今後6年間で全募集人員に占めるAO入試の割合を現在の20%から30%まで引き上げる。

(2015年10月21日 読売新聞より一部を抜載)

出願締切りは、今月末